

【法定研修】 不適切支援を生まないチームづくり（後編）

【配布用】 法定研修・小テスト

【法定研修】 不適切支援を生まないチームづくり（後編・講義②）

氏名： _____

所属： _____

実施日： _____年____月____日

【○×問題】

次の文を読み、正しい場合は「○」、誤っている場合は「×」を記入してください。

1. 不適切ケア・不適切支援を減らすには、個人の意識だけでも、職場の仕組みだけでも十分である。
()
2. 感情や状態のセルフチェックは、不適切ケア・不適切支援の予兆に気づくきっかけになる。
()
3. 強い口調になりそうなときは、すぐに言葉を返すことで支援の質を守りやすくなる。
()
4. 利用者の背景やこれまでの生活を考えることは、目の前の行動の意味を見直す助けになる。
()
5. Good 支援の共有や環境整備は、不適切支援を防ぐうえで役立つ取り組みとして記事に示されている。
()

【重要ワードの虫食い問題】

次の文の（ ）に入る言葉を書いてください。

6. 不適切ケア・不適切支援を防ぐには、個人の努力だけでなく、職場で支援の（ ）を共有することが大切である。
7. 自分の心理状態に気づくことは、利用者理解と同じくらい（ ）である。
8. 強い口調になりそうなとき、いったん立ち止まり、深呼吸をして少し（ ）をとることが勧められている。
9. 申し送りの中で「今日の Good 支援」を共有することは、個人の工夫をチームの（ ）に変えることにつながる。
10. 作業動線、音や光などの刺激、集中しやすい場所の確保などは、（ ）整備の一つである。